



けやき組
運動会本番前

2021.12.Dec
2022. 1.Jnu
2022. 2.Feb

奏の杜園だより

Kid's☆garden

「千年に一度」の大噴火！南太平洋の島国トンガ付近の海底火山で起きた大噴火による衝撃波は1万キロも離れた米アラスカ州にも伝わったそうです。また、海底ケーブルに頼っていた通信インフラも遮断され、被害の把握や安否確認も難航しています。噴火したのはトンガの首都からほんの65キロ離れたところにある火山でした。首都東京から約100キロ離れた富士山がもし同様の噴火を起こしたら被害はいかほどになるか想像もつきません。富士山は過去平均して100年に1度噴火して来たそうですが、直近では311年前の12月16日に大噴火（寛永噴火）し、以来300年以上も鳴りをひそめており、いつ噴火してもおかしくない状態にあるそうです。詳しくはウェザーニュースで検索すると被害想定を確認できますのでご覧ください。いつ起きてもおかしくないのであれば、被害を最小限にとどめる為にも備えておかなければならないと思います。園では先ごろ自家発電機を購入しました。ちょっとづつではありますが、少なくとも災害直後の混乱期を乗り切れるだけの備えはしておきたいと思います。

『我が家の子育て2021-⑪』 眞田家編 けやき組

少し前から空手を始めた年長さんの息子。

最近組手の練習を始めたばかりですが、本人の希望もあり、先日初めて練習試合に参加しました。

しかし同じ年代の子たちとはいえ、経験者との差は歴然です。手も足も出ず、負け続けること数試合。

ついに壁に顔を向け座り込んで大号泣…

もうやらないと言うかと思いきや、しばらくするとすくっと立ち上がり再び参加。

そして再びコテンパンにやられ、また涙…

わが子にはこんなに根性があったのかと驚きながらも、応援しかできないことがもどかしく、必死に戦う姿に親の目にも涙が…

いつの間にかひとりでも戦えるようになっていた息子。悔しさも経験し、これから大きく成長していくのが楽しみです。

【スポーツの冬、真っ盛り！！】

冬のスポーツで思い浮かべるのは、箱根駅伝、花園ラグビー、高校サッカー、そして、春高バレー！あれ春高バレー？と思いませんでしたか。例年、3月に行われていた高校バレーボールの全国大会が色々見直しがされ、3年生も集大成として大会に出場できるよう、随分前からですが2011年から1月（冬）に開催されるようになり名前はそのままの“春高バレー”で今年第74回大会となります。その春高バレーに地元、習志野高校バレー部が出場しました。もともと習志野高校はバレーボールでも全国的な強豪校で、15年連続38回目の出場となります。千葉県大会も全てストレート勝ちし全国の切符を手に入れました。同じ地域で生まれ育った子ども達が、全国の舞台で活躍する姿を目の当たりにすると、否応なしにキッズ☆ガーデンの卒園児達の名前を探してしまいます。戦績は1回戦辛勝し3回戦で惜しくも敗退でした。

【主任・学年主任コラム】 第11弾
新主任 『手先の器用な子に』

指先は第二の脳と表されることがあります。

指先で細かな運動をする時は、前頭葉が活発に働いて、繰り返し行うことで脳はより発達し、“感情をコントロールする力”も一緒に育っていくと言われています。

ボタンをかけたり、ファスナーを締めたりする着替えや、家事のお手伝いも普段何気なく行っている動きの中には、指先を鍛える動きがたくさん含まれています。

子どもたちにお願いと、大人がするよりも時間がかかってしまいますが、毎日少しずつお願いしてみたいはかがでしょうか？

【2月スケジュール】

3（木）節分

7（月）誕生会（ふじ・けやき）

10（木）避難訓練

21（月）発表会予行練習

25（金）発表会

※蔓延防止重点措置期間 [1/21～2/13]

[月] 課外英語（けやき組）

[火・水] 午後 / ピアノレッスン

[水] 午前 / 英語

[金] 午前 / 体操 午後 / 課外新体操、キッズダンス

【編集後記】 期待度や失敗したらいけないと思う気持ちが大きいと体が硬くなり緊張してしまいます。過度なプレッシャーはいけないと思います。しかし、適度な緊張感は時に必要です。ピアノも日々のレッスンだけではメリハリがなくなってしまうと思います。発表会がある事でレッスンにも緊張感が生まれます。緊張する、しないの分岐点のようなものがあります。このラインの引き上げが子ども達の成長に繋がっていると思います。子ども達は練習と本番をちゃんと見極めていきます。今の子ども達は本番に強い！もしくは緊張しないと言われる。確かに昔ほどはそれはないと思いますが、それでも子ども達は緊張しています。その証拠に本番を終えた子ども達の表情はみんな達成感に満ち溢れています。難しいご時世ですがこの「緊張と緩和」を日々の保育に適度に取り入れ保育園生活の充実を図って行きたいと思います。 園長 拝



発表会の練習風景